

SUNSHINE

第46号 2010年 2月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com
 URL http://www.taiyou1991.com/

太陽開発

検索

クリック!!



賃貸マンション（オーナー様）をご紹介します

オーナー

豊住知恵子 様

今回は下荒田に建築中の“アクアリウスⅡ”のオーナー様のご紹介です。豊住様は“フォレストホーム株式会社”の代表取締役でもあり、会社の経営理念「お客様の想いを形作り 真にお客様の立場に立った思考をし、顧客満足度NO. 1を目指す」とあるように女性ならではの視点で『同じ家を二つと造らない、全てお客様一人一人に合わせたオーダーメイド型の家造りをしよう』というコンセプトを掲げ、お客様の信頼を得ています。
 “かごしまづくりの本”にもフォレストホームで建築された住宅が多数掲載され、大活躍されています。今春は築師にも新築アパートを建築中で、完成前にもかかわらず空室は残りわずか!!
 ロフトや空間を最大限利用した間取りでお客様にご好評を頂いております。HPも是非一度ご覧になって下さい。

FOREST HOME

★楽勝・大家 TEL 228-1083
 楽勝・大家はアパート経営を応援します
 http://oh8.jp

★フォレストホーム TEL 228-0357
 ~まるで森の中に居るような家づくりを目指しています~
 http://www.foresthome.jp/

☆アクアリウスⅡ☆



今月の一冊 竜馬がゆく

其の45

司馬遼太郎

大正12(1923)年、大阪市に生れる。大阪外国語学校蒙古語科卒業。昭和35年「梟の城」で第42回直木賞受賞。41年「竜馬がゆく」で「国盗り物語」で菊池寛賞受賞。47年「世に棲む日々」を中心に作家活動で吉川英治文学賞受賞。51年、日本芸術院恩賜賞受賞。56年、日本芸術院会員。58年「歴史小説の革新」についての功績で朝日賞受賞。59年「街道をゆく“南蛮のみちⅠ”」で日本文学大賞受賞。62年「ロシアについて」で読売文学賞受賞。平成3年、文化功労者。平成5年、文化勲章受賞。著書に「司馬遼太郎全集」「司馬遼太郎対話選集」ほか多数がある。平成8年没。

前置き

いよいよ始まりましたね、福山君の『龍馬伝』! 書店に行くと「竜馬物」が山積みされていますが、やはり王道・司馬遼太郎先生(左記の受賞暦を見て!)の『竜馬がゆく』は外せませんね。本作品は以前から気になっていたのですが、全8巻という長さで気圧されてなかなか手を出せずにいました。しかし、今年の大河ドラマが『龍馬伝』(しかも、福山雅治主演)と知り、大慌てで読み始めました。実際、全8巻の内、今まだ4巻を読んでいる最中です。もともと日本史は苦手で…そう言えば共通一次(歳がばれる〜)でも選択しなかったなあ…今でこそ「新撰組フリーク」を自称していますが、それも6年前、大河の『新撰組』の近藤勇役を香取慎吾君がやったのがきっかけで、つまり、かなりミューな動機なんです。ただ、日本史苦手ながら、幕末、明治維新は面白そうだな…と漠然と思っていました。それが、新撰組との出会いで、今は「幕末限定歴史・初心者」と言ったところかな。となれば、やはり『竜馬がゆく』は必須作品ですね。



福山・竜馬
か! 良過ぎるぜよ!

騎射場探訪

莫逆

BAKUGEKI

■莫逆(ばくげき)の意味とは…?
 心に逆らう無しの意で、意気投合して親密な間柄のこと。
 料理やスタッフを通してお客様と意気投合できたら…という意味がこめられているようです。

弊社がお世話になっている“騎射場”周辺のお店のご紹介!!

今回は、騎射場電停目の前にある「莫逆(ばくげき)」様を取材させて頂きました☆
 お店に入ってまず感動したのが、「いらっしゃいませ!」とオーナーである谷口様をはじめ、スタッフの方一人一人が元気良く素敵な笑顔で迎え入れて頂いたことです♪
 お店をはじめられて今年で8年目になるそうです。
 メニューは主に和食がメインで、こだわりのお米を使った「銀シャリ」や毎朝谷口様自ら仕入れに行く「魚」のお刺身などは他所では食べられない絶品です!!(´-`)
 他にも、「赤鶏の炭火焼」や「イペリコ豚の炭火焼」など出てくるもの、出てくるもの、全て美味しかったです☆
 一つ一つの素材にこだわり、素材を生かした味付けの料理で感動の連続でした。
 接客、料理、お酒と全てにおいて絶品のお店です☆
 是非、皆さん一度足を運んでみてください♪

★莫逆の姉妹店で、「もつLABO」と「銀ノ虎」があります。
 (右写真)
 ■もつLABO
 鹿児島市下荒田3-38-18
 (莫逆の2F部分)
 ■銀ノ虎
 鹿児島市東町5-7(1F部分)



莫逆(ばくげき)
 鹿児島市下荒田3-38-18
 定休日 月曜日
 TEL 099-255-3642
 営業時間
 18:00~24:00



イペリコ豚の炭火焼



赤鶏の炭火焼



銀身の盛り合わせ



銀しゅうセット



う、うまい〜!
 超シャブリイコー
 ☆(´0´)☆

『竜馬がゆく』について

さて、前置きが長くなりましたが、『竜馬がゆく』…面白いです!
 今CMでも「男はみんな、竜馬かぶれ」なんて台詞がありますが、確かに竜馬は魅力的な人物ですね。まだ半分しか読んでいないので、幕末・明治維新における活躍振りには読み至っていませんが、人間的には素敵な男性です。ただ、本文中に出てくる竜馬像は、竜馬の実像半分、司馬氏の見解半分なのかな、と思ったりします。なにしろ、私は日本史苦手、他の竜馬本も読んでいない状態なので、私の竜馬は、司馬氏の竜馬なのです。竜馬の素敵な台詞も、これは司馬先生のお考えなのかしら…なんて思いついて読んでる最中です。
 そんな竜馬(司馬先生!)の素敵な考え方に次の様な件があります。竜馬が初めて土佐を出て江戸に向かう途中、富士山を見ます。初めて見る富士に感動した竜馬は、連れの藤兵衛(稼業は泥棒・龍馬伝には登場しない)にその感動を伝えますが、富士を見慣れている藤兵衛は気の無い返事。そこで龍馬の台詞。「血の気の熱いところにこの風景をみて感じぬ人間は、どれほどの才があっても、ろくなやつにはなるまい」「一瞬でもこの絶景をみて心のうちがわくわくする人間と、そうでない人間とはちがう」
 また、新撰組フリークの私が思わず涙したのは、次の件。夜の京都、三条辺りを南に下っていた時、市中見廻り中の新撰組と鉢合わせてしまう。今にも切りかからんとする新撰組隊士に対する台詞。「おれの仕事に諸君一同が参加するのなら請け入れてやるよ。船をおしえてやる。万里の波濤を越えて、世界の海を日本武士の海にするという仕事だ。日本はせまい。が、海はどここの領国でもない。これを舞台に大いに儲け、あたらしい海の日本をつくる。男子の本懐ではないか」「見まわしたところ、それぞれすぐれた面魂の男ばかりだ。一片の俠気義心のために死をも辞せぬのが諸君であらう。しかしそれは、所詮はおのれの範囲を出ぬ。心を変えろ。心を変えろ。心を。日本を背負う気になってみろ。」
 いずれも、竜馬(司馬先生)の懐の広さ、心の自由さを感じ、読んでいてわくわくします。また、司馬先生は、物語の随所に歴史の解説を入れて下さっているの、時代背景や、当時の社会の有り様、人々の思考の根拠等がよく分かり、大変面白いです。司馬先生が日本史の先生だったら良かったのに! この先読み進むのが楽しみです。

NHK大河ドラマ『龍馬伝』にもひとこと

福山君の竜馬は、今のところ“随分かわいらしい竜馬だな”って感じ。演技もほほえましく、温かい目で見守っている、といったところかな。ただ、岩崎弥太郎役の香川照之の怪演振りが光ります。彼を語り部役に据えた辺りは、さすがNHK! 『竜馬がゆく』同様、『龍馬伝』のこれからの展開も楽しみです。